

パーク24

株主通信 2023

2023年10月期 通期

2022年11月1日-2023年10月31日



株主の皆様へ 株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2023年10月期の振り返りと各事業の取り組み

2023年10月期(以下、`23期)は、中期事業戦略「4つのネットワーク(人・クルマ・街・駐車場)の拡大とシームレス化」を基本としながら「ネットワーク拡大への回帰」と「デジタル化の推進」を重点取り組みテーマに掲げ、再び成長路線に回帰するために『「守り」から「攻め」へ』の全体方針のもと、各事業の取り組みを推進した結果、売上高・各段階利益で過去最高を達成しました。

駐車場事業国内においては、新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)禍で培った、確実に収益化する駐車場のみに絞った厳選開発のノウハウを活かし、新規物件開発を積極的に行うことで、ネットワークの拡大を図りました。また、パートナーサービス(施設付帯の駐車場運営サービス)向けにカメラ式の時間貸駐車場(以下、カメラ式駐車場)の開発や精算・決済手段の多様化によるキャッシュレス化を推進するなど利便性向上に向けた取り組みを進めました。

モビリティ事業においては、外部環境の改善に加え、需要に合わせたタイムズカー車両の適正配備を進めることで、旺盛な個人の観光需要や法人の出張需要を確実に取り込み、車両数を増加させながらも台当たり利用料を伸長させました。また`23期は、主に法人をターゲットとした当社グループとして初となるテレビCMを含む大規模プロモーションを実施したことで、法人の会員数や利用

連結財務情報

		`21期	`22期	`23期	`24期計画
損益計算書	売上高	2,511億円	2,902億円	3,301億円	3,570億円
	営業利益又は損失	▲80億円	206億円	319億円	350億円
	経常利益又は損失	▲116億円	169億円	276億円	310億円
	親・当期純利益又は損失	▲116億円	24億円	175億円	200億円
貸借対照表	株主資本	251億円	527億円	703億円	902億円
	株主資本比率	7.9%	17.2%	22.8%	30.1%

も順調に伸長しました。

駐車場事業海外においては、英国では駐車場の稼働はコロナ禍からのゆるやかな回復が継続しており、事業利益は計画を上回る水準で推移しました。豪州では駐車場の稼働はゆるやかに回復しているものの、都心部を中心に想定よりも回復が弱く、軟調な推移となりました。その他の地域における駐車場の稼働は順調に推移しました。収益向上に向けた取り組みとしては、各国版タイムズパーキングの開発を促進することで事業ポートフォリオを最適化し事業リスクを低減させるとともに早期の収益改善に努めました。また、コロナ禍で進んだキャッシュレス決済への対応の推進によりお客様の利便性と満足度向上を図りました。この結果、駐車場事業海外では4期ぶりに黒字となりました。

2024年10月期および中長期的な見通し

当社グループは引き続き中期事業戦略「4つのネットワークの拡大とシームレス化」の基本方針のもと持続的な成長を目指しています。そのなかで2024年10月期(以下、`24期)も過去最高益の更新を目指してまいります。そのために、`24期は重点取り組みテーマとして「ネットワーク拡大の加速」と「サービス進化」掲げ、各事業においてコロナ禍で筋肉質化した事業体質を維持しながらサービス規模の拡大を加速させると同時に、お客様に選ばれ続けるようなサービス

事業別実績

		`21期	`22期	`23期	`24期計画
駐車場事業国内	売上高	1,467億円	1,542億円	1,630億円	1,704億円
	事業利益	176億円	296億円	320億円	330億円
モビリティ事業	売上高	671億円	787億円	988億円	1,090億円
	事業利益	36億円	93億円	175億円	210億円
駐車場事業海外	売上高	384億円	579億円	694億円	786億円
	事業損益	▲150億円	▲34億円	2億円	8億円

利便性を追求していきます。

駐車場事業国内においては、質の伴った開発を加速することでネットワークを拡大するとともに、カメラ式駐車場の開発や新型精算機の設置などを促進することで、より利便性の高い次世代駐車場サービスの構築を推進してまいります。

モビリティ事業においては、継続的なプロモーション等の実施により引き続きタイムズカーの需要を創出すると同時に、その需要や地域特性に合わせた車両の増車および貸出拠点の拡充を進めてまいります。また、お客様に選ばれ続けるサービスであるために、デジタル化を推進し会員プログラムやアプリケーションの改良を行い、利便性向上に努めてまいります。

駐車場事業海外においては、各国版タイムズパーキングの開発を促進することで、引き続き事業ポートフォリオを最適化し事業リスク低減を目指します。また、国内で実施している「エリア制」を導入し各エリア特性に応じた開発戦略や収益管理等の施策が実施できる体制を構築することで、既存駐車場の収益改善にも努め、利益の伸長を図ります。

株主還元については、コロナ禍で毀損した財務基盤の立て直しのため、2020年10月期より無配とさせていただいておりました。`24期はこれまでの財務施策および利益の積み上げにより財務健全化の目標である株主資本比率30%が視野

各事業の指標実績と計画

		`22期	`23期	`24期計画
駐車場事業国内 (タイムズパーキング)	新規開発件数	558件	974件	1,500件
	総運営件数	17,399件	17,639件	18,200件
	総運営台数	552,042台	576,262台	617,100台
モビリティ事業	総運営台数	53,062台	60,047台	67,800台
	貸出拠点数	14,132箇所	16,017箇所	18,000箇所
	会員数	2,040千人	2,423千人	2,900千人
駐車場事業海外	各国版TP件数	936件	1,348件	2,000件
	総運営件数	2,363件	2,586件	3,200件
	総運営台数	559,891台	538,161台	569,500台

に入ることから、「持続的成長に必要な投資資金以外の余剰資金は配当を中心に株主様へ利益還元」という当社株主還元基本方針のもと、1株あたり5円の配当を予定しております。

サステナビリティに関する取り組み

当社グループの駐車場やモビリティサービスは社会や環境とともにあると強く認識しており、社会や環境におけるあらゆる課題に向き合い解決していくことが企業としての責務であると考え、サステナビリティに関する各種取り組みを推進しています。`23期は、企業サイト「サステナビリティ」ページを大幅刷新し、これまでの取り組みを中心とした非財務データの掲載など、社外への情報開示にも注力しました。こうしたことから2023年7月には「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に、同年11月には「日経スマートワーク経営企業」に初めて選出されました。今後も、事業における各種取り組みや社外に対する情報開示などサステナビリティに関する取り組みを推進してまいります。

`24期も皆様のご期待にお応えできるようグループ一丸となって邁進してまいりますので、引き続きのご支援・ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

2024年1月

ご案内

決算情報はパーク24株式会社企業サイトにも掲載しておりますので、ぜひご活用ください。

[パーク24企業サイト「IR資料室」](#)

<https://www.park24.co.jp/ir/data/>



代表取締役社長
西川 光一

TOPICS

● タイムズのカメラ式駐車場の全国展開

当社グループは、お客様がより便利に駐車場をご利用いただくために「次世代タイムズパーキング」としてカメラ式の時間貸駐車場(以下、カメラ式駐車場)を展開しています。

従来のゲート式駐車場では入出庫時にゲートの前で機械操作が必要ですが、カメラ式駐車場は入出庫を車番認証カメラで管理し、精算はタイムズクラブアプリで事前に行うため、入出庫時の機械操作が不要となります。

カメラ式駐車場は、環境面においてもメリットがあり、駐車場機器の削減や駐車券の廃止によるCO₂排出量削減に貢献できます。

さらに、カメラ式駐車場は、ナンバープレートを認識・把握するという特徴を活かし、施設・土地オーナー様に新たな価値を提供しています。例えば、これまでは、取引先等の関係車両も入口ゲート前で駐車券を受け取り入庫し、料金精算等の手続きをしてから出庫という、一般のお客様と同様の手順でご利用いただいていたましたが、カメラ式駐車場では、関係車両のナンバーを事前に登録すること

で、カメラが登録車両を認証し、これまでのような手続きなく入出庫することが可能となります。

今後は、こうした特徴を当社グループサービスのマーケティングに活用することも検討しています。具体的には、読み取ったナンバープレートの情報から駐車場を利用されているお客様の属性などを分析し、その結果を駐車場設計に活用します。また、当社グループのモビリティサービス「タイムズカー」でカメラ式駐車場を利用いただいた際は双方の利用データを連携してお客様により快適なモビリティライフを提供するサービスを検討しております。

当社グループはこれからも、お客様の利便性向上はもちろん、土地・施設オーナー様への付加価値追求、さらには社会における環境負荷低減などあらゆるステークホルダーの期待に応えることができるよう革新的なサービス開発・展開を進めてまいります。

● 駅レンタカー smart west サービス開始

当社グループは、JR西日本レンタカー&リース株式会社と無人貸渡事業「駅レンタカー smart west」を展開していくことについて業務提携契約を締結し、2023年12月1日よりサービスを開始しました。

「駅レンタカー smart west」は、JR西日本レンタカー&リースがレンタカーサービスを展開する駅付近の営業所に、当社グループが運営するモビリティサービス「タイムズカー」の車両を配備し、プラットフォーム(車両や予約・決済システムなど)を活用して提供するサービスです。

当サービスは対面での貸渡手続きが不要となるため、レンタカー店舗の営業時間にかかわらず24時間いつでもスムーズに車両をご利用いただけます。西日本エリアの主要駅の近くの駅レンタカー営業所に16件のステーションを新設し、24台を貸し出しています(2023年12月1日現在)。

当社グループは、提携企業のネットワークに当社グループの駐車場・モビリティのプラットフォームを提供する新しい事業モデルの展開をしてまいります。さらに、鉄道などの公共交通機関との連携強化を図ることで、お客様にとってストレスのない移動環境の実現や利便性の向上、地域社会の発展などに貢献してまいります。

● 自治体との連携によるEVカーシェアリングの展開

当社グループは、自治体と連携し、カーシェアリングを活用した脱炭素化や環境負荷低減に向けた取り組みを推進しています。また、電気自動車(以下、EV)普及に向けた利用機会の創出に取り組むほか、EVを災害時の蓄電池として活用する連携協定を締結するなども行っています。

2023年10月期も各自治体との連携を通して、公用車の環境に配慮した車両への切り替えや近隣居住者・事業者がEVカーシェアリングを体験する機会の提供などの取り組みを推進しましたので、以下に一部紹介します。

東京都目黒区との連携

2023年7月に目黒区役所総合庁舎駐車場にタイムズカーのEV 2台を配備しました。EVの普及促進を図るため、1台は庁用車として平日日中は区職員が利用し、その他の時間帯およびもう1台は区民等一般の方にもご利用いただく仕組みとしています。



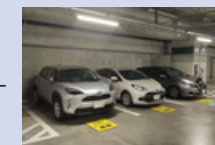
東京都大田区との連携

2023年8月に大田区所有の事業用地にタイムズカーのEV 2台を配備しました。大田区民や周辺事業者がEVカーシェアリングを体験いただくことで、自動車利用の最適化およびZEV^{*}の普及促進を図っています。

※ゼロエミッション車：走行時にCO₂等の排出ガスを出さないEVや燃料電池(FCV)などの自動車

千葉県市川市との連携

2023年8月に「タイムズ市川市役所第1庁舎」にタイムズカーのEV 1台・ハイブリッド車 2台を配備しました。

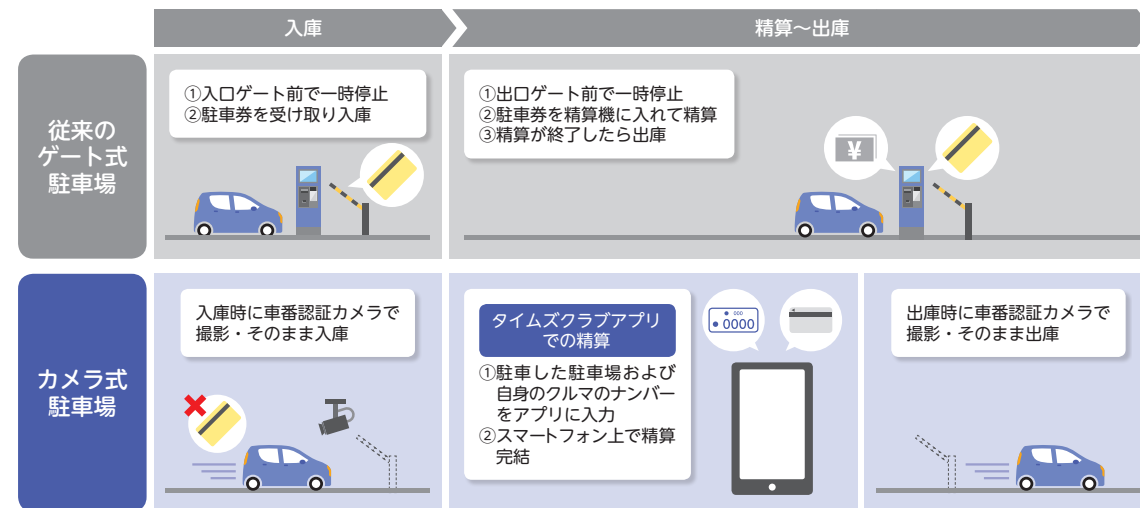


福岡県福岡市との連携

2023年9月に福岡市の所有施設「さいとびあ」にタイムズカーのEV 2台を配備しました。タイムズカーで初めて、再生可能エネルギー100%の電力を使ったEV運用を実施しています。

当社グループは今後も、タイムズカー車両の配備エリアの拡大による移動の利便性向上を図るとともに、自治体との連携による環境負荷低減への取り組みを推進してまいります。

カメラ式駐車場の利用方法



※駐車料金の精算はタイムズクラブアプリ精算のほか、事前精算機のご利用も可能です。

カメラ式駐車場によるメリット

お客様

- 駐車券の管理不要
- 入出庫時の渋滞解消
- 機器接触事故の回避

オーナー様

- 車番認証カメラ管理によるセキュリティ向上

当社

- 利用情報のマーケティング活用
- 駐車場開設・管理コスト抑制

環境

- ペーパーレス(駐車券)
- 駐車場機器製造に係るCO₂排出量削減

提携先企業のネットワークに、当社グループの
駐車場・モビリティのプラットフォームを提供する
新しい事業モデルの展開

TOPICS

●豪Secure Parkingグッドデザイン賞受賞

当社グループは豪州で駐車場サービス「Secure Parking」を運営しており、自社にて開発した駐車場総合システム「Voyager(ボイジャー)」の精算機において優れたデザインとイノベーションを評価され、2023年11月にオーストラリアグッドデザイン賞2023のプロダクトデザイン部門にて賞を受賞しました。

今回の受賞にあたって同賞の審査員は、「Voyager精算機の総合的なデザインは、駐車場システムの現状を刷新しようという明確な意欲を示している。精算機の強度、設置の簡単さ、拡張性、カスタマイズに重点を置いていることに感銘を受けた。顧客体験がデザインにあたっての最優先事項にあったことが明白」とコメントしています。

Voyager

「Voyager」とは、従来の駐車場システムを刷新し、駐車場利用におけるお客様の利便性向上や、運営における業務効率の向上を図ることを目的に開発しました。2023年4月に導入したこの駐車場システムにより、IoT(モノのインターネット)と呼ばれる情報通信技術やクラウド技術を活用することで、従来型の駐車券や駐車場機器が不要となり、お客様には入庫、駐車、精算、出庫までシームレスにご利用いただけるようになりました。



オーストラリアグッドデザイン賞

オーストラリアグッドデザイン賞とは、1958年以来、優れたデザインと革新性を推進し、豪州における最高峰の国際的デザイン推進プログラムとして世界デザイン機構(WDO)に認められているデザイン賞です。選考は、優れたデザイン性、革新性、インパクトの3基準を軸に、豪州内外のデザインの専門家により行われます。



当社グループは、今後もお客様の利便性向上につながる新しい技術を積極的に取り入れ、サービスの設計や機能の拡充を図ってまいります。

●柔道部報告

当社は社会貢献活動の一環として2010年に実業団柔道部を設立し、世界で活躍できる選手の育成を図ると同時に、柔道教室などを通じた青少年の健全育成およびスポーツ文化の醸成に努めています。

2024年7月に開幕予定のパリ2024オリンピック競技大会において、当社柔道部に所属する男子66kg級の阿部一二三選手、同73kg級の橋本壮市選手、女子52kg級の阿部詩選手、同78kg超級の素根輝選手が柔道日本代表に内定しました(2023年10月末現在)。金メダル獲得に向けて日々練習に励んでおります選手にご声援賜れますと幸いです。よろしくお願い申し上げます。



©パーク24/Kazuyuki Ogawa

●TEAM JAPANオフィシャルパートナー契約締結

当社グループは、公益財団法人日本オリンピック委員会とTEAM JAPANパートナーシッププログラムの「駐車場」カテゴリにおける『TEAM JAPANオフィシャルパートナー』契約を締結しました。この度のオフィシャルパートナー契約を通じて、TEAM JAPANを支援するとともに、国際大会等での活躍に貢献してまいります。



アンケートへのご回答のお願い

2023年7月に発行した株主通信のアンケートにおいて、今回も大変多くのご回答をいただき、誠にありがとうございました。皆様から頂戴した貴重なご意見・ご要望は、今後の株主通信や企業サイトにおける情報発信に活かしてまいります。

今回いただいた多くのご意見のなかには「株主通信はWeb掲載のみで十分ではないか」「紙の株主通信の郵送を続けてほしい」など今後の発行方法に関するものを多く頂戴しました。当社グループは、これまでは年に2回株主の皆様へ株主通信を郵送に

てお届けしておりましたが、昨今のインターネットの普及および地球環境等に配慮した省資源化の観点から、紙面による郵送を廃止し当社企業サイトに掲載するなどの発行方法を検討しております。そこで、どちらのご意見が多いのかアンケートを実施し、よりよい情報提供につなげたいと考えております。

株主の皆様には **はがきアンケート** または **Webアンケート** の**株主通信の発行形態に関する設問**にご回答いただき、ご意見をお聞かせいただけますと幸いです。

ご回答方法

以下のいずれかの方法でご回答いただけますと幸いです。

はがきアンケート

郵便はがき

1 4 1 - 8 7 9 0 102

料金受取人私郵便

大崎局 承認

7488

差出有効期間 2025年12月16日まで (切手不要)

(受取人) 東京都品川区西五反田2-20-4

パーク24株式会社 経営企画本部 R・サステナビリティ推進部 行

アンケートのお願い

当社では、当冊子を含め皆様への情報提供を充実させていきたいと考えております。お手数ですが、裏面のアンケートにご回答いただくとともに、ご意見・ご感想をお寄せください(切手を貼らずにご投函ください)。

ご年齢 ☐ 20代以下 ☐ 30代 ☐ 40代 ☐ 50代 ☐ 60代 ☐ 70代以上

ご職業 ☐ 会社員 ☐ 会社役員 ☐ 自由業 ☐ 自営業 ☐ 主婦 ☐ 学生 ☐ その他()

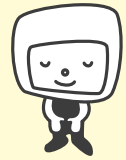
株主通信の発行形態についてご要望をお聞かせください。
☐ 引き続き紙で郵送してほしい
☐ 企業サイトにウェブ版を掲載するだけでいい
☐ 郵送とウェブ版の掲載両方を希望
☐ 特に要望はない

|||||

Webアンケート

株主様向けアンケート

株主の皆様の声をお聞かせください



下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<https://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード 4666

いいかぶ

検索



スマートフォンからもアクセスできます。QRコード読み取り機能のついたスマートフォンをお使いの方は、下のQRコードからもアクセスできます。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(QUOカードPay500円)を進呈させていただきます。



※本アンケートは、株式会社リンクコーポレートコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。 <https://www.link-cc.co.jp>

●アンケートのお問い合わせ

「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

(1809)

株主メモ／株式の状況／会社概要

株主メモ

証券コード	4666
事業年度	11月1日～翌年10月31日
定時株主総会	毎年1月下旬
基準日	期末配当 10月31日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

●IR情報に関するお問い合わせ先

経営企画本部 IR・サステナビリティ推進部
TEL：03-6747-8120 FAX：03-6747-8110
E-mail：ir@park24.co.jp
ホームページにもIR情報を掲載しています。
<https://www.park24.co.jp/ir/>



●株式事務に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

0120-232-711

(通話料無料／土・日・祝日を除く9：00～17：00)

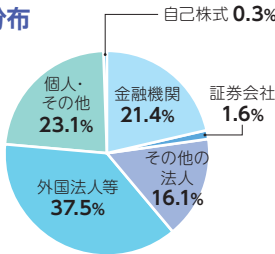
※当社株式事務に関する一般的なお問い合わせも受け付けています。

株式の状況

(2023年10月31日現在)

発行可能株式総数	283,680,000株
発行済株式の総数	171,048,369株
1単元の株式数	100株
株主数	47,415名

所有者別株式分布



大株主

氏名または名称	持株数（千株）	持株比率（％）
有限会社千寿	21,746	12.7
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社（信託口）	19,952	11.7
株式会社日本カストディ銀行 （信託口）	8,513	5.0
西川 光一	8,110	4.7
西川 功	6,194	3.6
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	5,656	3.3
日本信号株式会社	3,853	2.3
GOVERNMENT OF NORWAY	3,666	2.1
BANK PICTET AND CIE (EUR OPE) AG, SUCCURSALE DE LUXEMOURG REF UCITS	3,323	1.9
西川 恭子	3,200	1.9

会社概要

(2023年10月31日現在)

商号	パーク24株式会社
本社所在地	〒141-8924 東京都品川区西五反田二丁目20番4号
創業	1971年8月26日
役員	代表取締役社長 西川 光一 取締役 佐々木 賢一 川上 紀文 川崎 計介 山中 新吾 大浦 善光（社外） 監査等委員 である取締役 笹川 顕史 丹生谷 美穂（社外） 長坂 隆（社外）
資本金	32,739百万円
決算期	毎年10月31日
従業員数	5,234人（連結）
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人



地球環境にやさしいFSC認証紙と植物油インキを使用しています。

パーク24株式会社
A-03-32-2024.01-51,000-1